

# 区議会レポート

# 107号

葛飾区議会議員  
**かわごえ誠一**

2024年11月6日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

f a x 03-3697-0137

本号の内容

表面：令和6年第三回定例会報告

裏面：決算審査特別委員会報告

かわごえ誠一オフィシャルサイト [www.kawagoeseiichi.com](http://www.kawagoeseiichi.com) →



## 令和6年区議会第三回定例会閉会

◆令和6年区議会第三回定例会が9月11日(水)から、10月10日(木)までの30日間の会期で開催されました。

■第三次一般会計補正予算 87億4,821万円議決

◆今定例会では立石駅及び青砥駅周辺のトレーラーハウス型喫煙所整備、自転車用ヘルメット購入費助成の拡充、修学旅行費用等義務教育費無償化などの令和6年度一般会計第三次補正予算 87億4,821万円が上程され、9月24日(火)の中間本会議で議決されました。

◆また、決算審査特別委員会が開催され、4つの分科会での審議の後、令和5年度決算が認定されました。  
◆分科会でのかわごえの意見は裏面に掲載しています。



本会議で決算討論をするかわごえ

■かつしか区民連合令和7年度予算要望

◆10月22日(火)にかつしか区民連合として、令和7年度予算編成に向けての要望書を青木かつのり区長に提出しました。◆政策提言も含めて区政全般についての予算化への要望をしました。◆今後政策実現に向けて更に取組みを進めてまいります。



予算要望書を手渡すかわごえ

■葛飾区清掃事務所に統合オープン

◆10月17日(木)に葛飾区清掃事務所のオープンニングセレモニーが開かれました。◆本施設は区内初の省エネルギービル ZEB Ready 認証施設として整備され、省エネ技術が取り入れられています。◆また、災害時の備蓄倉庫も併設され、防災活動拠点としても整備が進められます。



## かわごえ誠一ミタウンミーティング・学習会 多文化共生社会に向けて～外国ルーツの子ども・家庭を支える取り組み

～子育て・教育の現場で何に困り、何が求められているのか～

◆と き：2024年11月14日(木) 19:00～(開場18:45) 参加費無料

◆と ころ：かつしかシンフォニーヒルズ別館4階ライラック

- 1、外国ルーツの保護者の置かれている状況とRMJの活動～「RMJ」室井萌さん
- 2、外国ルーツの子どもの学習支援ボランティア活動～「なかよし」浦山太市さん
- 3、療育から見る外国ルーツの子ども支援の課題～放課後等デイサービス「ソラアル」河高康子さん
- 4、にほんごステップアップ教室からはじまる日本語教育支援～総合教育センター
- 5、子ども家庭支援センターの相談から見る外国ルーツの家庭支援～子ども家庭支援センター
- 6、葛飾区の多文化共生の取り組みについて～文化国際課

◆直接会場にお越し下さい。お問合せは下記連絡先までお願いします。

◆葛飾区では外国人の人口が増加しており、それに伴い外国ルーツの子どもも増えています。◆一方、その子どもたちへの支援はまだ確立されていない状況です。◆今回は外国ルーツの子どもや家庭の支援に関わる現場から現状を伺い、課題を共有したいと思います。◆併せて葛飾区で取り組んでいる支援について報告を受け、多文化共生社会に向けての理解を深めたいと思います。

かわごえ誠一連絡先 tel: 090-2932-7315 e-mail: info@kawagoeseiichi.com

# 令和5年度決算審査特別委員会分科会報告

◆第3回定例会では令和5年度決算案が上程され、決算審査特別委員会が設置されました。9月30日の第一分科会を皮切りに費目別の四つの分科会に分かれ審査されました。かわごえ誠一は福祉費を審査する第二分科会（9月1日開催）及び、教育費と各特別会計などを審査する第四分科会（9月3日開催）に所属しました。以下、分科会でのかわごえの発言の要旨を報告します。

## ◆第二分科会（福祉費）

### ■ 福祉費 ■

#### ● 社会福祉費

◆**障害者チャレンジ雇用**について今後、障害者雇用率2.7%を求められるが、区役所内の各部署ごとの受入れのみでなく、全庁的に総合的な相談や継続的な支援体制を検討をするべきだ。

◆**放課後等児童デイサービス**は、区に指導検査が移管されたことを機会に、福祉部だけでなく、教育委員会や子育て支援部など部署を超えた連携を進め、充実に努めていただきたい。

◆**社会福祉協議会**は、民生委員の欠員が恒常化しているため、自治町会以外にも推薦団体を検討するなど欠員対策を求める。

#### ● 児童福祉費

◆**子ども・若者支援事業経費**での子ども・若者相談は相談を受けるのみでなく、その先の支援へつなげるためのアセスメント体制やコーディネート、居場所づくりと連携した施策が必要であり、充実のためユースワーカーの導入等も含めた検討を求める。

◆**高卒認定試験受講補助**は当事者が在籍した学校や、子ども若者支援団体との連携を進め執行率をあげることが必要だ。

◆**ヤングケアラー支援**はピアサポートが伸び悩んでいる状況が見られる。充実のためコーディネート体制などの検討を求める。

◆**学童保育事業運営経費**は公立学童保育クラブでの夏季学童の状況を検証し、待機児童対策を進めよ。

◆**児童相談所運営**は、一時保護所での情報伝達での課題が見られる案件があったが、子どもの命を預かる重さを自覚し、責任の明確化と課題が生じた場合はその都度、第三者の評価等を求める。

### ■ 衛生費 ■

#### ● 衛生管理費

◆**精神保健事業**は精神疾患が増加傾向にあるため、三障害のワンストップの相談窓口や、就労支援の再構築の検討を求める

#### ● 公衆衛生費

◆**難病対策事業支援経費**は難病に対する社会的理解を育むために「世界希少難病の日」などを利用し広報などでの周知を進めること。

#### ● 環境衛生費

◆**環境衛生事業費**においてインバウンド増加により区内でも民泊が増え、それに伴い近隣とのトラブルの増加も予想される。住民の住環境を守るため、区として早急な体制強化を求める。

## ◆第四分科会（教育費・特別会計他）

### ■ 教育費 ■

#### ● 教育総務費

◆**学習センター・学校図書館**ではオフィスサポーターを導入しての蔵書点検を評価する。夏季休業中の開館については学校により利用度に差があるため、活用されている学校の事例を共有し、検証を進めるとともに、教育委員会として自学自習の方針を示すことが必要である。また、学校司書については欠員対策を求める。

◆**総合教育センター**は、体制整備を評価するとともに、教育委員会として総合教育センター長の継続的な人材確保を求める。

◆**日本語指導**は増加する外国人児童の対応のために、文化国際課などと連携した保護者支援が必要である。また、保護者への情報提供のため学校ホームページなどの多言語化を求める。

◆**不登校対策**では適応教室を校内サポートルームに名称変更したことを評価すると共に、不登校生徒への進路指導の充実を求める。

#### ● 社会教育費

◆**放課後支援経費**では待機児童対策を進めるため、今年度試行されている「かつしかプラス」の拡充に向けて各学校施設の活用や利用料の費用負担のあり方など制度設計を急ぐこと。また、わくわくチャレンジ広場も含む放課後支援の方向性が未だ示されていないため、早急に示すことを求める。また、小学校の始業前の見守りは、学校地域応援団等も視野に入れた人材確保を求める。

◆**図書館管理運営経費**では「葛飾区立図書館の取組方針」を元にした、各館の開館時間の統一など評価し、区の常勤職員の役割を明確化した上で上級専門員の活用を期待する。子ども読書推進を進める上で、図書館施設の改修には子育ての視点を含めることと、コロナ禍で中断したブックスタートボランティア再開を求める。

◆**博物館管理運営経費**では施設の老朽化への対応とともに、博物館の文化財保護と社会教育機関としての各機能の整理や、災害対策、学芸員の継続的な雇用など課題を分析し、計画・方針を示せ。

#### ● 社会体育費

◆**社会体育振興経費**において葛飾区とキッズチャレンジ未来の契約の経緯の情報の開示をし、速やかに議会への説明を求める。

### ■ 介護保険特別会計 ■

◆**包括支援事業諸費**では、全て委託で運営されている地域包括支援センターのサービス向上のため、区の直営での設置を求める。

## 令和6年衆議院議員選挙について

◆10月27日（日）に投票が行われた衆議院議員選挙では、改めて民意の大きな流れを感じました。◆以下、葛飾区の選挙区である東京第17区の投票結果を報告します。

◆**葛飾区投票率52.2%**

### 衆議院小選挙区選出議員選挙結果

1、無所属 平沢勝栄	64,495 票
2、国民民主党 円より子	51,975 票
3、日本維新の会 いのくち幸子	42,420 票
4、日本共産党 新井杉生	26,564 票
無効票	14,631 票

### 衆議院比例代表選出議員選挙結果

1、自由民主党	45,531 票
2、立憲民主党	30,625.904 票
3、国民民主党	30,109.095 票
4、公明党	22,838 票
5、日本維新の会	19,463 票
6、日本共産党	15,814 票
7、れいわ新撰組	14,778 票
8、参政党	6,357 票
9、日本保守党	6,143 票
10、社会民主党	2,562 票
11、みんなでつくる党	678 票
無効票	5,163 票

◆今回の選挙では「政治と金」が大きく注目されました。◆選挙後にそれらが無かったことにされないように、背景なども含めて明らかにする必要があります。◆「森友加計問題」と根が付きながら、権力者による公金の使い方を国民がどう監視できるかが、問われていると感じています。◆葛飾区では立憲民主党の候補は擁立されませんでした。◆大きく増えた仲間には国会で期待したいと思います。◆また、今回の選挙を通じて、選択的夫婦別姓や、マイノリティからの発信など多様性を求める声を強く感じました。◆誰一人取り残さないという理念を具体化していくための取り組みが求められ、地域と国とで連携して進めたいと思います。